

1. 職名・氏名 教授・池田英二

2. 学位 学位 博士、専門分野 医学、授与機関 金沢大学、授与年月 平成12年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 精神保健Ⅱ(2)2年
②内容・ねらい（自由記述）	現代社会の精神保健上の諸問題を、ライフサイクル(ライフステージ)、社会的場面などの面から、特に身近な話題を取り上げ、その課題・対策について学ぶ。また、関連する法令についても取り上げる。疾病性(病気の問題)のみならず、事例性(実生活での問題)の観点から、適切な支援を考えることができるよう、各種法令との関連も説明できるようになることを狙いとした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	ライフステージ、社会的場面毎に見られる精神的な問題を学生自身で取り上げ、調べ、発表してもらうことで、より深い理解ができるようにした。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 精神医学Ⅱ(2)1年
②内容・ねらい（自由記述）	精神医学の歴史から、基盤となる脳の解剖生理、症状や検査法、治療法を概説したのち、個別の精神疾患について、視聴覚教材を使用しながら全般的に講義する。また、症例を適宜提示し、受講生同士による症例検討を実施。 精神医学Ⅱと合わせて、代表的な精神障害の成因、症状、治療について生物学的、心理学的、社会学的な観点から理解し、多面的なアプローチができるように広範な基礎知識を習得する。そして、それらの基礎的知識を総動員し、事例検討を通して全人的な患者理解と効果的な支援とは何かを考えられるようになれることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	講義資料はLMSに事前にアップし、予習の便宜を図った。また、映像資料も利用することで、リアリティーを持って学習できるように配慮した。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 精神医学Ⅱ(2)1年
②内容・ねらい（自由記述）	精神医学Ⅰのつづき。特に、個別の精神疾患について、視聴覚教材を使用しながら全般的に講義する。また、制度的な面も最後に学習した上で、総合的な症例検討を通して知識の定着と応用を行う。 精神医学Ⅰと合わせて、代表的な精神障害の成因、症状、治療について生物学的、心理学的、社会学的な観点から理解し、多面的なアプローチができるように広範な基礎知識を習得する。そして、それらの基礎的知識を総動員し、事例検討を通して全人的な患者理解と効果的な支援とは何かを考えられるようになれることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	講義資料はLMSに事前にアップし、予習の便宜を図った。また、映像資料も利用することで、リアリティーを持って学習できるように配慮した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健学特論(2) 院 1
②内容・ねらい（自由記述） 精神症状や検査法、治療法を再確認したのち、ライフステージをもとに個人から社会まで広い視野で精神疾患について考える。また、視聴覚教材も活用しながら適宜症例を提示する。 精神疾患に関する知識を、ライフステージを軸にして生物学的（Bio） - 心理的（Psycho） - 社会的（Social）の各側面から考えていく。特に、受講生自身が文献の検索およびレビューを通じ、自ら疑問を調べ、解決、プレゼンまでできるよう、学習を進めることができるようになることをねらいとする。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 受講希望者なしであった
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名 精神医学特講（2） 埼玉大学
②内容・ねらい（自由記述） 精神医学の歴史から、基盤となる脳の解剖生理、症状や検査法、治療法を概説したのち、個別の精神疾患について、視聴覚教材を使用しながら全般的に講義する。また、症例を適宜提示し、受講生同士による症例検討を実施。 代表的な精神障害の成因、症状、治療について生物学的、心理学的、社会学的な観点から理解し、多面的なアプローチができるように広範な基礎知識を習得する。そして、それらの基礎的知識を総動員し、事例検討を通して全人的な患者理解と効果的な支援とは何かを考えられるようなれることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 映像資料を利用することで、リアリティーを持って学習できるように配慮した。
④本学における業務との関連性（自由記述） 講義科目が同じであり、多様な学生に講義を行うことにより、学生の理解がよくない箇所などがより鮮明になるため、本学の講義においても質が向上する。
(3)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日) 大学生における対大人と対子どもの公正さ：最後通牒ゲーム・独裁者ゲームを通して、共著(担当：研究企画、解析、総括)、埼玉大学紀要. 教育学部 68(2) 409-417、2019年9月30日) 高校生におけるアサーションと認知のゆがみとの関係共著(担当：解析) 埼玉大学紀要. 教育学部 66(2) 223-237、2017年9月30日
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所)) 「大学入学時における、ストレス対処法から見たインターネット依存傾向の危険予測因子」、第56回全国大学保健管理研究集会(2018年10月3日、4日)、共同報告(担当：研究企画、データ収集、解析、総括)
④その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日)) 日本発達心理学会における研修講師(2018年12月)
学会での役職など(学会名)
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所)
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間))
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間） 兵庫県警察本部管理者講習の講師（2018年） 長野県教育委員会管理者講習の講師（2018年、2019年） 長野県教育委員会一般教員メンタルヘルス講習の講師（2017年、2018年、2019年） 石川県教育委員会一般教員メンタルヘルス講習の講師（2017年、2018年） 公立学校教員のメンタルヘルス個別相談（2017年、2018年、2019年）
③（公益性の強い）NPO・NGO法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） 地域活動支援センターつながり（越前市）における講演（2019年）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時） 社会福祉士国家試験対策講座、福井年立大学、2019年7月23日
② 社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） 開放講義、福井県立丹生高校、2018年12月12日
③ その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長） （職名、期間）
(2)委員会・チーム活動 （名称、期間） 衛生委員会委員（2018年4月から） 保健管理センター運営委員会委員（2018年4月から） 学校医（2018年4月から） 保健管理センター副センター長（2019年4月から）
(3)学内行事への参加 （行事名、参加日時） 高校訪問（敦賀気比高校）、2019年7月16日
(4)その他、自発的活動など （活動名、活動内容、活動期間）